

# 新日中友好21世紀委員会 キャンパスセミナー

6月。一年の中で最も日の長い季節です。日が長くなるとともに、戸外での学生の活動が目立つようになります。今日も、よさこいグループ“突風”の威勢のよい掛け声が、随分と遅くなった夕暮れのキャンパスにこだましています。大学の主役は学生です。学生たちの活気と眼の輝きこそが、大学の生命であり大学の實力を測る最良の指標なのです。

去る6月5、6日の両日、元国務委員の唐家璇氏を中国側座長、東芝相談役の西室泰三氏を日本側座長とする日中の有識者からなる「新日中友好21世紀委員会」の意見交換会が長崎市で開催されました。

そのプログラムの最後に、長崎大学での「キャンパスセミナー」が生まれ、本学学生と新日中友好21世紀委員会との意見交換が実現しました。

セミナーでは毛利衛日本側委員(宇宙飛行士)の基調報告に続き、学生たちが金融、水環境、核廃絶の3つのテーマで15分ずつ

日中の課題を論じ、その後、それぞれについて、同時通訳下で日中の13人の委員と意見交換を行いました。学生たちの発表は、いずれも言語明瞭で論旨も明快、見事な出来栄で、中国側委員からの簡単ではない質疑にも堂々と論理的に応じる様は、我が学生ながら、頼もしさに目を見張るほどでした。

聴講した多文化社会学部の1年生たちも次々と手を挙げて的を射た鋭い質問を發するなど、大変に中味の濃いセミナーとなりました。

最後に総括發言をされた日本側座長の西室氏、中国側座長の唐氏の両座長も、異口同音に学生たちを絶賛され、

大学でのひと時に大満足の意を表されました。学長冥利に尽きるお言葉でした。また、ささやかであっても心の通じ合う交流の積み重ねこそが、真の日中友好の道を拓くことを確信させてくれたひと時でもありました。学生諸君に心よりの敬意と、感謝の意を表したいと思います。



長崎大学長 片峰 茂

## CONTENTS

長崎大学広報誌  
[チョーホー]  
Choho Vol.48

本誌記事を長崎大学関係者が転載する場合は、「長崎大学広報誌Choho vol.〇から」と明記してください。学外の方は、事前に広報戦略本部までご連絡願います。

学長室だより	新日中友好21世紀委員会キャンパスセミナー	1	表紙のはなし
特集	長崎大学4年間まるわかり	2	夏はフィールドワークの季節。環境科学部では海や山、森のなかで水や動植物などを対象にさまざまな調査を行います。今回のモデルは環境科学部3年の中島健太郎さんと日高桜子さん。ともに環境問題を考えるサークル「つじゃすみん」のメンバー(中島さんは部長)で、ふだんから海など、フィールドで活動することが多いのだそうです。
大学の研究最前線	海の天然物に学ぶ創薬化学研究	9	
長崎大学のいま!	環境科学部	11	
地域で活かされる長崎大学の「知」	RECNA	15	
Topics	多文化社会学部	17	
グラバー図譜	チダイ	19	
Information	平成26年度オープンキャンパス	21	
	長崎大学「通」クイズ	22	
	編集後記	22	